



谷中でないと

～ 変わりゆく谷中の今後を考える ～



森まゆみ



椎原晶子



矢嶋桃子

アートリンクが1997年から2014年まで、17年にわたって活動の場としてきた上野・谷中界隈が大きく変貌していく気配をあちらこちらで感じ始めました。2020年のオリンピックに向けての動き、開発という名のもとに変わりつつある街の景観、そして国内外からの観光客の増大。このにぎわいは、手放して喜んでいいものなのだろうか？ 観光地となることは、街にとって喜ばしいことなのだろうか？ オリンピックの後はなにが残るのだろうか？ 住んでいる人たちはどんなふうにいるのだろうか？

こんな疑問を解き明かすことで、アートリンクの今後の活動の指針が見えてくるのではないかと考え、谷中界隈を拠点のひとつとして、地域と深く関わりながら活動している3人にお話を伺うことにしました。

司会・進行は、アートリンク実行委員で、老舗畳店を営むご主人とともに古くから谷中でギャラリーを運営してきた熊井千代子です。

- 日時 2016年11月23日(水・祝) 14:00～16:00 (開場は13:30)
- 会場 日展新会館1階(台東区上野桜木2-14-3)
- 料金 1000円(アートリンク記録集付き)
- 定員 30名
- 主催 <art-Link 上野-谷中> 実行委員会
- 協力 平成28年度 東京大学体験活動プログラム No.17 参加学生
- ご予約・お問い合わせはメールにて事務局まで。artlink97@yahoo.co.jp



森まゆみ

早稲田大学政経学部卒業、東大新聞研究所修了。出版社勤務の後の1984年、友人らと東京で地域雑誌『谷中・根津・千駄木』(谷根千工房)を創刊、2009年の最終号まで編集人を務める。主な著書に『円朝ざんまい』(文春文庫)、『東京遺産』(岩波新書)、『谷中スケッチブック』(ちくま文庫)、『千駄木の漱石』(ちくま文庫)など。歴史的建造物の保存活動や戦争証言の映像化にも取り組む。

椎原晶子

NPO たいとう歴史都市研究会副理事長。1989年東京芸術大学大学院修了。同年にまちづくりグループ「谷中学校」設立に参加、以降、運営人。2000年東京芸術大学大学院美術研究科博士課程(環境デザイン)単位取得退学。同年、同大学大学院文化財保存学保存修復建造物研究室非常勤講師。01年NPO たいとう歴史都市研究会設立、04年晶地域文化研究所設立。15年古民家をリノベーションした複合施設「上野桜木あたり」の運営にかかり現在にいたる。

矢嶋桃子

東京都台東区谷中出身。編集プロダクション、広告代理店、出版社、ディズニーなどを経てフリーランスに。ライター・編集者として雑誌や書籍などの仕事のかたわら、乳幼児家庭の地域コミュニティ『谷中ベビママ安心ネット』を運営。絵本の移動式図書室「やなかこども文庫」や、家族の交流イベントなどを企画している。また地域活動として、『一般社団法人谷中ヒマラヤ杉基金』の理事、事務局『たいとう子育てサポーターズ』の事務局も務める。